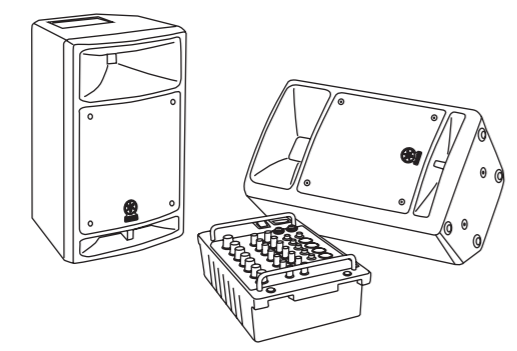


ごあいさつ
このたびは、ヤマハPORTABLE PA SYSTEM STAGEPAS 300をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。



特長

- 2way 8インチ(20cm)スピーカー コンパクトながら高品位でワウフルなサウンドを実現できます。
■パワードミキサー イコライザーやリバーブ機能まで内蔵したオールインワンのパワードミキサー。
■コンパクト収納 ミキサーを1台のスピーカーに収納できるので、小さいスペースで屋内でも屋外でも対応できます。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
■記号表示について
■「警告」と「注意」について

警告
電源/電源コード
接続
分解禁止
水に注意
異常に気づいたら

注意
この機器の電源コンセントの近くに設置する。
スピーカーを取り付けるときは、スピーカーの溝とミキサーの凸部を合わせてミキサーをしっかりとめ込んだあと、固定ネジをOPENからLOCKの方向に「カチッ」と音がするまで回します。

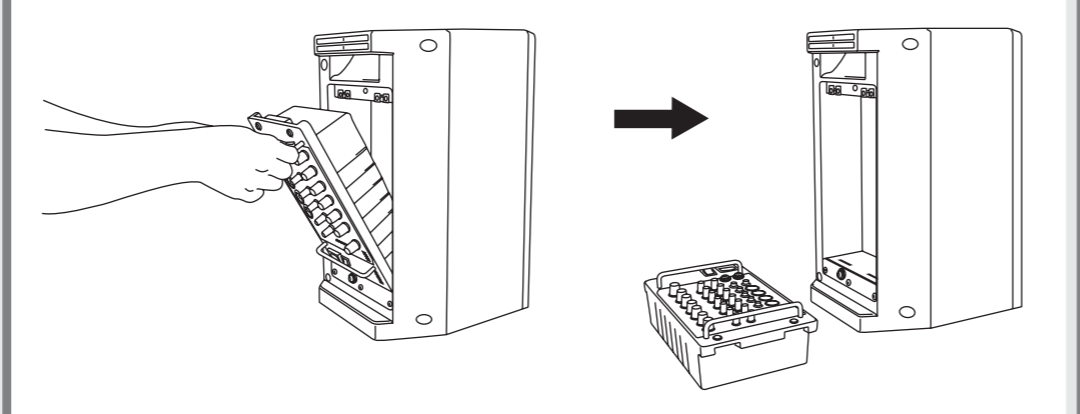
注意
電源/電源コード
設置

電源を入れる/切る
電源コンセント(AC100V)にプラグを差し込みます。
電源を入れる前に、LEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを0にしておいてください。

パッケージの内容 (お確かめください)
スピーカー2台、ミキサー1台、パネル1枚、電源ケーブル、スピーカーケーブル2本、取扱説明書(本紙)、保証書

ご使用前の準備

- 1. ミキサーの電源が切れていることを確認します。
2. コインなどを使って、ミキサーの固定ネジをLOCKからOPENの方向に「カチッ」と音がするまで回します。



ミキサーのハンドルは、ミキサーをスピーカーから取り外すときと、ミキサーだけを持ち運ぶときに使用してください。

NOTE: ミキサーをスピーカーに取り付けたままでもご使用いただけます。

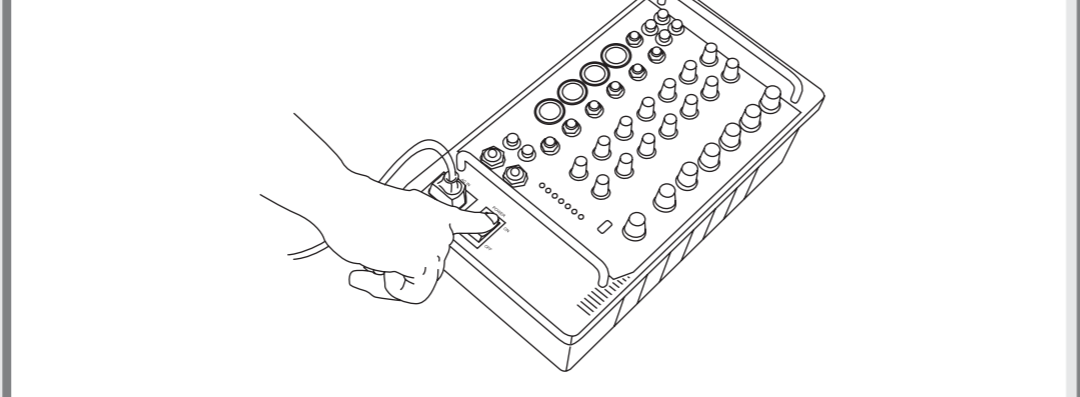
電源の準備

- 1. POWERスイッチが「OFF」になっていることを確認します。
2. [AC IN]端子に付属の電源コードを接続します。
3. 電源コンセント(AC100V)にプラグを差し込みます。

電源を入れる/切る

- 1. スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、音源に近い機器から順に電源を入れてください。
2. 電源を入れる前に、LEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを0にしておいてください。

POWERスイッチを「ON」側に押すと、電源が入ります。POWERインジケータが点灯します。電源を切るには、POWERスイッチを「OFF」側に押します。

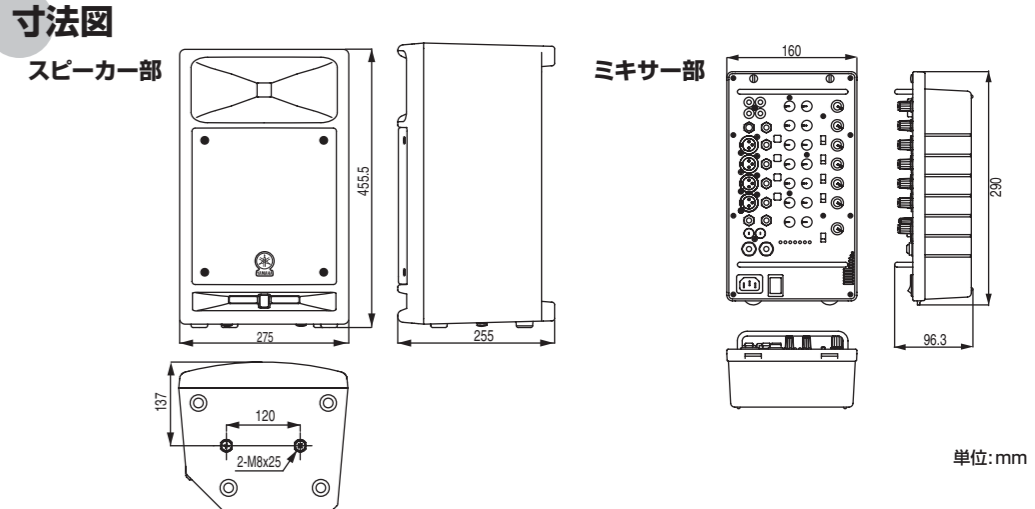
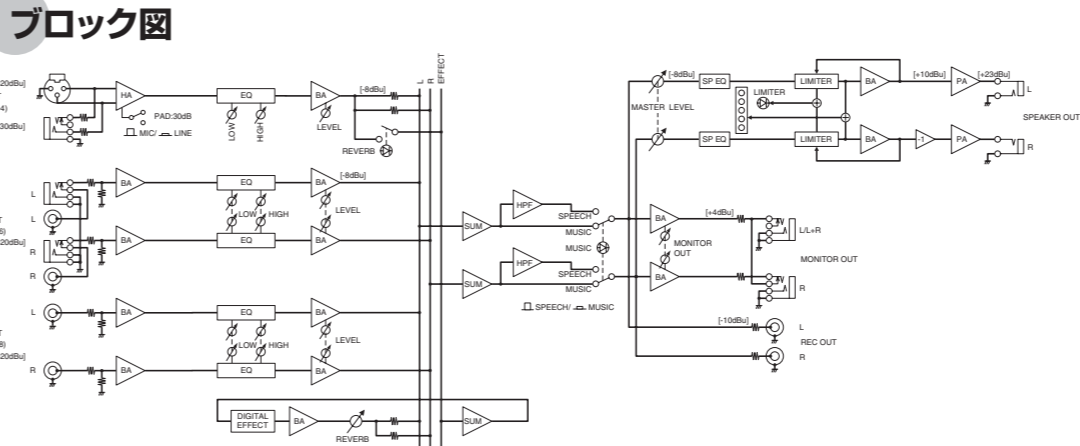


困ったときは? (故障かな?と思ったら)

- 電源が入らない
突然、電源が切れた
音が出ない
音が途切れる
音が歪んだり、雑音が入る
音が小さい
リバーブがかからない
音質を変えたい

保証とアフターサービス

- 修理に関するお問い合わせ
保証書
保証期間中の修理
保証期間経過後の修理
補修用性能部品の最低保有期間
修理のご依頼
損害に対する責任
お客様ご相談窓口



- 仕様
一般仕様
最大出力
周波数特性
全高調波歪率
ハム&ノイズ
クロストーク
音質

0570-012-808
北海道サービスセンター
名古屋サービスセンター
大阪サービスセンター
九州サービスステーション

お客様ご相談窓口: ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口
営業窓口
国内営業本部
PAマーケティング部

# STAGEPAS 300

## クイックガイド

### スピーカーから音を出す

付属のスピーカーを使って、音を出してみましょう。

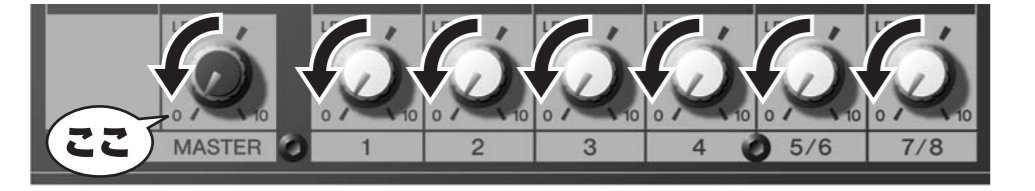
### 1 ミキサーにスピーカーや楽器などを接続します

付属のスピーカーをSPEAKER L/R端子に接続してください。ギターや楽器などの外部機器を入力端子に接続します。接続例を参照してください。

他の機器(付属のスピーカーやマイクも含む)と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーケーブルは必ず付属のケーブルをご使用ください。故障の原因になることがあります。また電源を入れたり切ったりするときは、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にしてください。

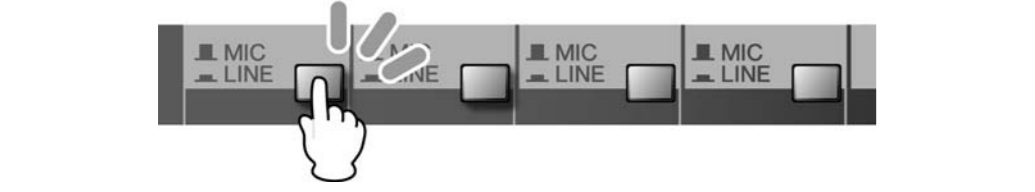
**NOTE:** エレキギターやエレキベースなどを接続する場合は、DI (ダイレクトボックス)、プリアンプ(ギターアンプ)、アンプシミュレーターなどを経由してミキサーに接続することをおすすめします。

### 2 ミキサーのLEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを“0”にします



### 3 接続したチャンネルのMIC/LINEスイッチをMIC (■) または LINE (■) に設定します

マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC (■) にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE (■) にします。



### 4 電源を入れます

接続した外部機器の電源をすべてONにしたあと、STAGEPAS 300のミキサーの電源をONにします。アンプ内蔵スピーカー(パワードスピーカー)を接続している場合は、ミキサーの後に電源をONにします。



スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、音源に近い機器から順に電源を入れてください。

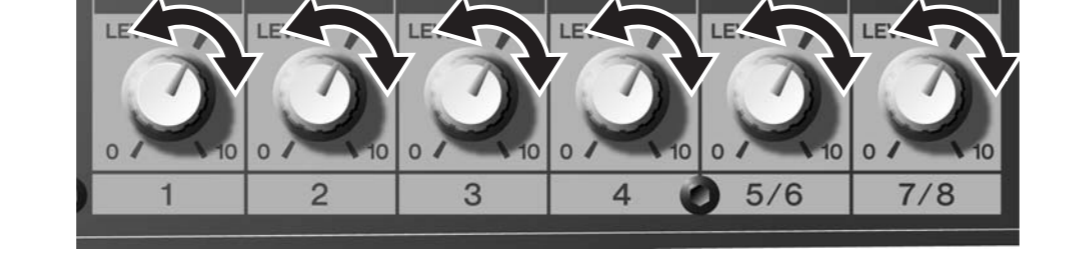
例: 音源(外部機器) → STAGEPAS 300 → (パワードスピーカー) 電源をOFFにするときは、上記の逆の順序になります。

### 5 MASTER LEVELコントロールを“0”に合わせます



### 6 楽器やマイクで音を出しながら、各チャンネルのLEVELコントロールを調節します

LEVELメーターの“0”がときどき点灯するように、音が入力されているチャンネルのLEVELコントロールを調節します。



### 7 MASTER LEVELコントロールで全体の音量を調節します

LIMITERインジケーターが長く点灯し続けると、内蔵アンプやスピーカーを破損する原因となりますのでご注意ください。



### リバーブ(残響音/エコー)をかける

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を得ることができます。

### 1 リバーブをかけたいチャンネルのREVERBスイッチを押してON (■) にします



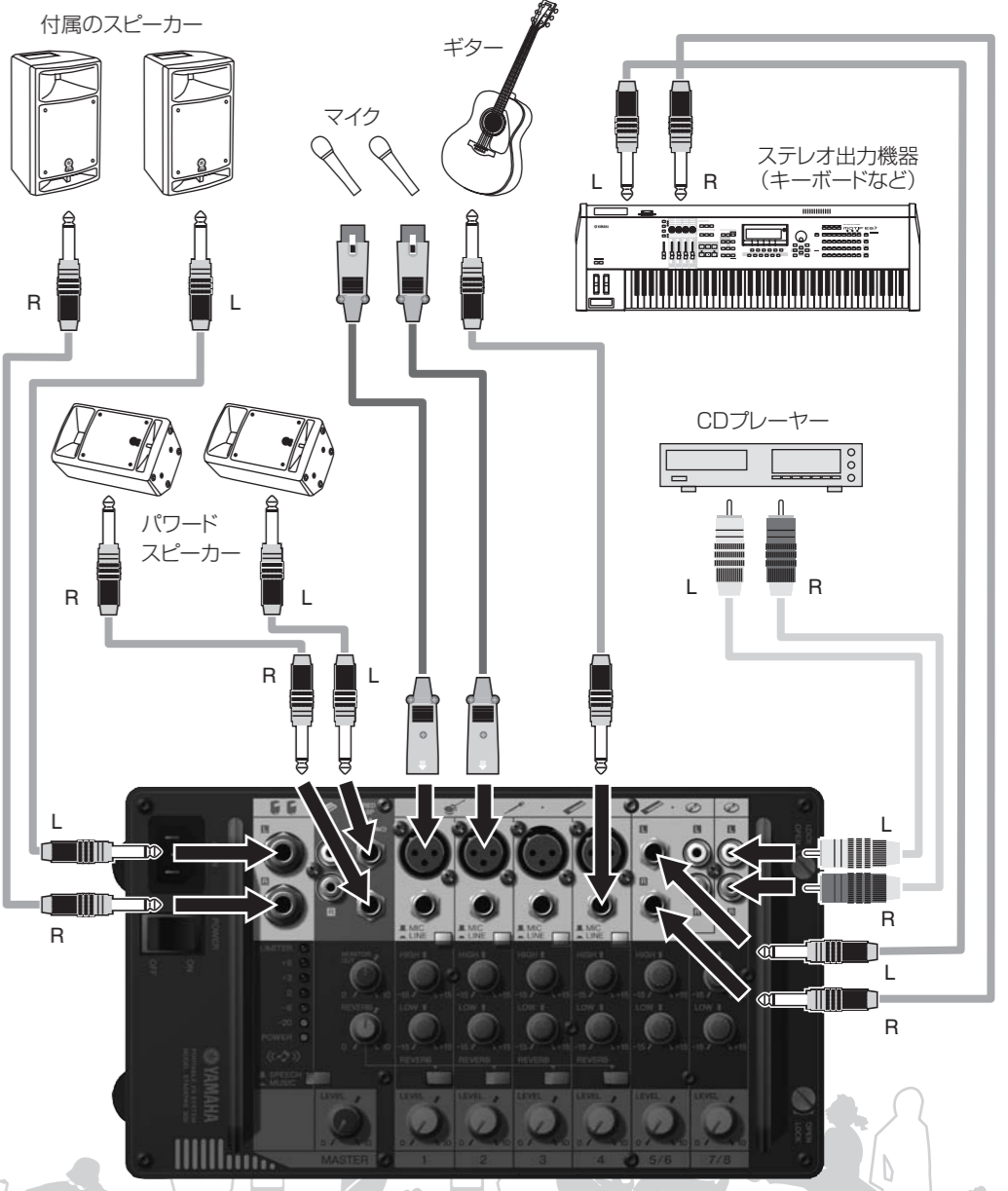
### 2 REVERBコントロールで全体のリバーブのかけ具合を調節します



## 接続例

軽量かつパワフルなSTAGEPAS 300は、室内でのバンド演奏はもちろんストリートライブにも対応できます。マイクやギターなどのモノラル入力は、チャンネル1から4に接続、キーボードなどのステレオ入力は、チャンネル5/6または7/8に接続。アンプ内蔵スピーカーがあれば、MONITOR OUT端子に接続してボーカル用のモニターに使用。バンド演奏中は、SPEECH/MUSICスイッチをMUSICにすると、迫力あるサウンドが得られます。

**NOTE:** エレキギターやエレキベースなどを接続する場合は、DI(ダイレクトボックス)、プリアンプ(ギターアンプ)、アンプシミュレーターなどを経由してミキサーに接続することをおすすめします。



## 各部の名称と機能

**1 AC IN端子**  
付属の電源コードを接続します。  
**!** 電源コードは付属のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になることがあります。

**2 POWERスイッチ**  
電源のON/OFFを切り替えるスイッチです。

**16 LEVELメーター**  
SPEAKER L/R端子から出力される信号のレベルを表示します。  
**!** LIMITERインジケーターが長い間点灯すると、内蔵のプリアンプに過大な負荷がかかり、故障の原因になります。信号の最大入力時に瞬点灯するレベル以下に、MASTER LEVELコントロールで信号のレベルを下げてください。

**17 POWERインジケーター**  
POWERスイッチをONにすると点灯します。POWERインジケーターが点滅している場合は、保護回路が作動しています。スピーカーケーブルが正しく接続されているか確認したあと、再度電源を入れ直してください。

**15 MONITOR OUT コントロール**  
MONITOR OUT端子から出力される信号を調節します。  
**NOTE:** MASTER LEVELコントロールの影響を受けません。

**14 SPEECH/MUSICスイッチ**  
SPEECH/MUSICスイッチをSPEECH (■) にすると、ナレーションなどのスピーチに適した音質になります。SPEECH/MUSICスイッチをMUSIC (■) にすると、楽器演奏やライブなどに適した音質になります。MUSIC (■) にすると、SPEECH/MUSICスイッチが、黄色に点灯します。

**3 SPEAKER L/R端子 (付属のスピーカー用)**  
チャンネル1から7/8の信号がミックスされて出力されます。出力レベルは、MASTER LEVELコントロールで調節します。  
付属のスピーカーのみを付属のスピーカーケーブルで、必ず電源を切った状態で接続してください。故障の原因になることがあります。

**4 REC OUT L/R 端子**  
チャンネル1から7/8のミックスされた信号が、MASTER LEVELコントロールに関係なく出力されます。外部のレコーダーなどを接続します。

**5 MONITOR OUT L(MONO)/R 端子**  
チャンネル1から7/8のミックスされた信号が、MONITOR OUTコントロールでレベル調整されて出力されます。外部のモニター用アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。

**12 LEVELコントロール**  
各チャンネルの音量バランスを調節します。  
**!** ノイズを減らすために、使用しないチャンネルのLEVELコントロールは最小“0”にしてください。

**13 MASTER LEVELコントロール**  
SPEAKER L/R端子から出力される音量を調節します。LEVELコントロールやEQ (イコライザー) で調節した音色や、各チャンネルの音量バランスを変化させることなく全体の音量だけを調節します。

**6 チャンネル入力端子 (CH 1から4)**  
ギター、マイク、キーボードなどを接続します。マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC (■) にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE (■) にします。  
**NOTE:** 一つのチャンネルでフォーン端子とXLR端子を同時に使用することはできません。どちらか一方の端子だけをご使用ください。

**7 ステレオチャンネル入力端子 (CH 5/6、7/8)**  
ステレオ信号をL/Rに入力します。シンセサイザーやCDプレーヤーなどステレオ信号で出力される機器を接続します。  
**NOTE:** 一つのステレオチャンネルでフォーン端子とRCAピン端子を同時に使用することはできません。どちらか一方の端子だけをご使用ください。

**8 MIC/LINEスイッチ**  
チャンネル1から4の入力信号のレベルに応じて切り替えます。マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC (■) にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE (■) にします。

**9 EQ (イコライザー)**  
HIGH 各チャンネルの高音を調節します。右に回すと高音が強調されて、はっきりしたハキレのいいサウンドになります。「キーン」とハウリングする場合は、少し左に回して高音を抑えます。  
LOW 各チャンネルの低音を調節します。右に回すと低音が強調されて、響きの深いサウンドになります。「ボン」とハウリングする場合や音がこもる場合は、少し左に回して低音を抑えます。

**10 REVERBスイッチ**  
コンサートホールやライブハウスで演奏しているようなリバーブ(残響音/エコー)をかけたい場合は、このREVERBスイッチをON (■) にします。ONにすると、REVERBスイッチが緑色に点灯します。

**11 REVERBコントロール**  
全体のリバーブ(残響音/エコー)のかけ具合を調節します。リバーブをかけすぎると音がぼやけたり、ハウリングしやすくなりますので、少し抑えて設定します。

**これは便利!**

付属の電源ケーブル、スピーカーケーブル、取扱説明書(本紙)、マイク(別売)をスピーカーに収納できます。スピーカーのパネルを取り外して、必要なものをコンパクトに収納しましょう。STAGEPAS 300さえあれば、いつでもどこでもライブステージに変わります。